

武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会（第3回） 令和5年度 武蔵野市地域自立支援協議会（第3回親会） 会議要録

日時：令和5年7月31日（月）午後6時30分～8時40分

場所：市役所8階802会議室

次 第

1. 開 会
2. 配布資料確認
3. 第1部「計画策定委員会」
 - (1) 第2回資料「改定のポイントと論点」に関する質問事項について【資料1】
 - (2) 計画の全体像（中間のまとめ構成案）【資料2】
 - (3) 重点的な取組み【資料3】
 - 重点1 相談支援体制の充実
 - 重点2 地域生活支援の充実
 - 重点3 社会参加の充実
 - 重点4 障害児支援体制の充実
 - 重点5 障害者差別解消に向けた取組みの推進
 - (4) 施策の体系図 【資料4】
4. 第2部「地域自立支援協議会」
5. その他
6. 閉会

配付資料

- ・資料1 第2回資料「改定のポイントと論点」に関する質問事項について
 - ・資料2 計画の全体像（中間のまとめ構成案）
 - ・資料3 重点的な取組み（重点1～5）
 - ・資料4 施策の体系図
 - ・資料5 第6期障害福祉計画・障害児福祉計画目標値に対する令和3，4年度の実績について（追加分）
- 参考 第2回会議要録
障害のある方やそのご家族の相談窓口
人材育成センターパンフレット
第1回 相談支援ネットワーク部会 議事録

出席者（敬称略）

会 長・・・岩本操（武蔵野大学人間科学部人間科学科教授）
委 員・・・佐藤資子（社会福祉法人武蔵野千川福社会チャレンジャー所長）
杉本美乃（株式会社浩仁堂地域活動支援センターコット施設長）
立野信行（社会福祉法人おおぞら会あすはKids管理者）
中村美奈子（東京都多摩府中保健所保健対策課地域保健第二担当課長代理）
西村聡彦（市民公募委員）
長谷川圭（特定非営利活動法人ゆうあいセンター理事）
横山美江（社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会地域福祉推進係長）
山本紀之（特定非営利活動法人ミュー副理事長）
後藤耕土（社会福祉法人武蔵野ジョブアシストいんくる施設長）
久保田聡（明日の風法律事務所弁護士）
福本千晴（武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員）
岩岡由美子（武蔵野市民生児童委員協議会第一地区会長）
安東博（武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員）

欠 席・・・羽田野敦子（社会福祉法人武蔵野地域生活支援センタービーと副施設長）

事務局・・・山田（健康福祉部長）、福山（地域支援課長）、小久保（高齢者支援課長）、宮本（生活福祉課長）、齋藤（障害者福祉課長）、大浦（社会福祉法人武蔵野派遣副参事）、田口（障害者福祉センター長）、永田（障害者福祉課）、三浦（障害者福祉課）、淵上（障害者福祉課）、吉村（障害者福祉課）

傍 聴・・・6名

1. 開 会

部会長・・・盛沢山な内容だが、皆さんから意見を伺い、充実した会議にしたい。

2. 配布資料確認

○事務局より配布資料の確認。

3. 第1部「計画策定委員会」

(1) 第2回資料「改定のポイントと論点」に関する質問事項について

○事務局より資料1の説明。

部会長・・・ご意見をいただきたい。

3ページ、7番で、どのようなスキルが必要かを答えているが、どこが主体か、どのようなスキルアップの仕組みを考えているのか。

事務局・・・相談支援専門員同士が学び合える場があることが重要で、基幹相談支援センターがそのネットワークを整えられたらよいと考えている。

部会長・・・・・・リーダーシップの機能に期待したい。

委員・・・・・・2ページ、4番の分野横断的なアプローチとは具体的に何か。

事務局・・・・・・今の段階では何も決まっていないが、どこかの切り口で関われるような体制がある
といいということが前提になっている文章。精神障害とは別の切り口からのアプロ
ーチ。分野横断的にその人を支援していく。

部会長・・・・・・精神保健の課題は非常に範囲が広いが、回答では自認がない方と限定的。どこをタ
ーゲットにするかの優先順位があっている。今の話だと福祉総合相談窓口の機能と
重なるので、そことの関係性や地域包括システムとの関連を整備した方がよい。い
くつかの切り口は同じものを目指しているのか、区分けして取り込もうとしている
のかの整理をして頂きたい。

事務局・・・・・・障害者福祉課だけでの検討は難しいので連携は必要と考えている。ここに書かれて
いる対象像はアウトリーチが必要な方。法的には予防的観点も必要で、精神疾患や
不安の強い人も対象とした広い概念となっている。地域包括システム等との関連し
た手法、事業ができないか、問題意識を持っている。

部会長・・・・・・アウトリーチが必要な方という切り口で良いのではないか。

委員・・・・・・8ページ、16番、医療的ケア児等コーディネーターの「等」という表現について、
確認したい。これは医療的ケア児のためだけに配置されたのか、障害児全体の相談
が受けられるのか。

9ページ、18番、心のバリアフリー啓発事業について、小中学校での公開授業はス
ケジュールがいっぱいだが、今後どうするか。19番、虐待防止とあるが、虐待
は人権侵害である等、言い方を工夫しながら、人権侵害にならないような書き方が
良いのでは。障害差別解消も「解消」ではなく「禁止」と本文にはある。

事務局・・・・・・「医療的ケア児等」は、法律上は「等」が付いている。医療的ケアに準ずる心身に障
害のある人が対象となる。医療、福祉、療育を包括したサービスを利用する必要が
あり、障害児相談支援だけでは不十分なので国がコーディネーターを作った。1ケ
ースにひとりの体制ができればいいが、毎年体制が変わっている。研修には長時間
を要するので人数は多くない。

学校長が教育課程の編成や年間指導計画の策定を担うため、心のバリアフリー啓発
事業の案内について、毎年の校長会に出席し事業の案内を行っている。ただし、学
校にカリキュラムは非常に密であり、新規の内容を組み込むことが困難と聞いている。

(2) 計画の全体像（中間のまとめ構成案）

○事務局より資料2の説明。

コロナの部分は扱いを検討中。

委員・・・・・・2ページ、基本施策に「子供たちが希望をもち健やかにすごせるまちづくり」があ
ったが、これは子どもの計画に移動になったのか。重点的な取組みには、障害児支

援があるが。

事務局・・・抜けていたので追加させていただく。

(3) 重点的な取組み

重点1 相談支援体制の充実

○事務局より資料3の説明。

部会長・・・1番目、指定一般相談支援事業所が入らないのは理由があるのか。地域定着は別の所でということか。相談支援の充実では人の配置が重要で、積極的に進めてもらいたい。

事務局・・・特に絞っているというわけではない。誤解を生むようであれば「特定」は外して記載しても趣旨には合致する。

部会長・・・是非、そのようにお願いしたい。

重点2 地域生活支援の充実

○事務局より資料3の説明。

部会長・・・非常に範囲が広いテーマだが、質問・意見はあるか。

委員・・・1番目、地域生活支援拠点に関して4行で収まってしまっている。地域生活支援拠点の説明会では、皆どうしたら加算が取れるのかに関心があった。整備することによってどうなるのかを具体的に書いて欲しい。加算よりも、どう連携したら地域がよくなるのか、具体的に説明して欲しい。武蔵野市は令和5年度に整備となっている。区切りをつけているのか、段階的に進めるのか。

事務局・・・事業はスタートしている。今年度の目標は知的障害者への緊急時の対応、相談体制の確立で、小規模な形で行い、数や障害の種別を増やす等をしていくような段階的整備の記載のあり方を考える。地域で各事業所が面的整備の形で連携して取り組むことを、もっとしっかりと記載する。

部会長・・・地域生活支援拠点はこれまでの協議会でも議論してきているし、多くの方がイメージしやすい記載をしていただきたい。

委員・・・ハザードマップは年々更新されるが、新しいものはどこでもらえるのか、存在を知らない人もいる。何処に逃げたらいいか周知してもらいたい。

事務局・・・ハザードマップや黄色い冊子の東京防災を持っていない、知らないという声を多く聞く。基本的な情報の啓発は繰り返し、様々な視点からやらなければならないと反省している。定期的に広報紙等で紙面を確保し、啓発していきたい。

部会長・・・防災対策は一般的なものと、個別性の高いものがある。

重点3 社会参加の充実

○事務局より資料3の説明。

- 委員・・・・・・実習先の確保に向けた取組みは、どこが主体で行っているのか。
- 事務局・・・・・・就労支援センター「あいる」では、市から委託され、実習先の確保に向けた取組みをしている。
- 委員・・・・・・具体的な新たな取組は、まだないのか。
- 事務局・・・・・・市でも色々な分野が就労支援をしているが、各分野がまとまって行う必要性を感じている。現在策定作業中の第六期長期計画・調整計画に、健康福祉分野だけではなく、産業分野とも連携していけないかと議論している。
- 部会長・・・・・・議論はどこが主管で進めているのか。
- 事務局・・・・・・計画案のまとめをしているが、健康福祉分野は他分野との連携、産業分野でも就労先の確保するという両面で書いている。
- 部会長・・・・・・それが今後、どのような形で具体的な活動に展開するかを検討はこれからか。
- 事務局・・・・・・具体的にはこれから。関係部署が話し合っている。
- 部会長・・・・・・市民として委員、何かご意見はあるか。
- 委員・・・・・・特になし。

重点4 障害児支援体制の充実

○事務局より資料3の説明。

- 委員・・・・・・4番目、適切なサービスとあるが、希望したサービスがないので別のものだったり、待ったり、別の所へ行く必要があったりを見聞きするので、適切とは、足りているものなのか、足りていないので今後このようなことをするという意味なのか。
- 事務局・・・・・・不十分なものもある。発達について不安を抱える保護者の相談をすぐに受けられないことがある。ここでは、保護者が子どもに最適なサービス利用計画案を作成することは難しい場合もあり、第三者の専門的な視点での計画作成について書いている。
- 委員・・・・・・2番目、セルフプランが増加するのは良いことなのか。プラン作成者の人材不足からこのようになっているのか。
- 事務局・・・・・・良いこと悪いことで分けるのは難しい。必要な人もいれば、自分でできるという人もいる。本来ならば相談しながら作っていくのがより良い。相談支援専門員は大人の分野でも、子どもの分野でも不足している状況がある。
- 部会長・・・・・・必要な人に届くだけの相談支援の体制が求められるが、大きな課題がある。

重点5 障害者差別解消に向けた取組みの推進

○事務局より資料3の説明。

- 委員・・・・・・5番目、「虐待に至らないようにするための相談支援体制の充実」とは具体的にどういうことか。
- 事務局・・・・・・虐待になる手前で適切な相談支援を導入していれば、未然に虐待を防ぐことができた例が散見されているため、記載している。

部会長・・・相談や通報の内容を細かく見ると、どこにSOSがあったか、どこで防げたかが見えてくるので、可能な範囲で共有できればいい。

委員・・・4番目、好事例を伝えるとあるが、自分の所で何ができるか分からない人が多いと思うので、好事例から啓発していくことをポイントにするといい。

(4) 施策の体系図

○事務局より資料4の説明。

委員・・・重点項目を網羅する形で施策の体系があると思ったが、重点項目にはあるが、施策の体系にないものがあるのは理由があるのか。例えば重点2、特別支援学校の生徒が増えていて、これからどうするのかという話。

事務局・・・今までの話の順番と表のリンクが弱くて見にくく、申し訳ない。資料4は市の長期計画にどう繋がるかという書き方をしているので、重点がバラけたりしている。特別支援学校の卒業後の行き先については具体的にどうするかがなく、検討段階で施策の体系にはない。

部会長・・・体系の5ページでは「ピアサポーター育成の検討」と検討段階でも載っている。このあたり、今後どう整理するか検討いただきたい。重点と施策体系がズレると、頭に入って来にくい。内容は重複しているので、説明の順番を工夫して欲しい。

○事務局より資料5の説明。

部会長・・・目標値と実績のギャップをどう考えるか、それを改善していくための計画なので反映させていきたい。

4. 第2部「地域自立支援協議会」

部会長・・・部会の進捗状況の報告をお願いしたい。まず、相談支援ネットワーク部会。

○委員より「第1回武蔵野市地域自立支援協議会相談支援ネットワーク部会記録」の説明。

部会長・・・続いて、地域移行部会。

委員・・・1回目を8月3日に予定している。今までの経過を紹介し、これからどうするかと議論をする予定。

部会長・・・続いて、(仮称)住まい部会。

委員・・・第1回はこれから。新設だが情報を共有し、どこに課題があって、何が要望されているのかを探る。ある程度情報が整理されたら、どのような提案をすれば施策につながるのかをまとめていきたい。

部会長・・・当事者部会はいかがか。

委員・・・今年あったか祭りでは、今までの成果物、選挙の広報、ポスター、選管にお願いしている投票箱、投票用紙、今までやったトイレ調査、道路で困ったこと、公園に入れなかったこと等、発表しているものを展示したい。

交流と集いプロジェクトに関しては、誰でもふらっと来られてボードゲーム等ができて、そこへ子どもや大人が入って来て話ができる、そこに居るだけでいいという場所、例えばコミセンのロビーなどで開催できたら良いと考えている。それをどういう形でやるかが問題になっている。

委員・・・・・・交流と集いのポイントは、コミセンのロビーでゲームをやって自然に集まる感じの交流と、地域社協と民生委員といった住民の方に、当事者が自分の人生や生活を話して理解を深めるような、小さなグループで話をする交流の場だったり、バス運転者さんとの小さな交流の場だったり、色々な交流のやり方があるという話はしているが、具体的にどうやるかは決まっていない。

部会長・・・・・・以上、部会の活動報告を共有していただいた。新しい人も多く、過去にどのような活動をして、どのような成果物があるか知らない人もいる。これを機に共有していただけるといい。調査結果や重点課題項目はそれぞれの部会でも関連しているので活用してほしい。

部会長・・・・・・東京都協議会の交流会について事務局よりお願いしたい。

事務局・・・・・・メールで調整させていただいたが、都の地域自立支援協議会の交流会が8月28日に開催される。テーマは「当事者の参画による地域移行・地域生活支援への取組みの意義」となる、住まい部会から1名、事務局から3名参加する予定。
今年初めての試みとして、地域自立支援協議会の担当者、事務局側の連絡会が1週間前に開催される。情報共有をする予定。

5. その他

事務局・・・・・・質問・意見書は1週間程度で事務局へ。

次回は9月11日（月）18：30から市役所412会議室で開催予定。計画の中間のまとめの案を示す予定。

6. 閉会